

総合的な学習の時間学習指導案

指導者 河本 壮一郎 仁田 実佑 高垣 尚晃

- 1 日時 令和5年 11月 10日(金) 第5校時
- 2 場所 2年生教室
- 3 学年 第2学年 男子22名 女子14名 計36名
- 4 単元名 地域交流プロジェクト「神石の未来に向けて」
- 5 単元について

○生徒観

本学年の生徒は、総合的な学習の時間において、神石高原町の活性化のために自分たちにできることを見付け、実践するための学習に取り組んできた。1年時には、「町のことをもっと知りたい」という思いから、生徒たち自身の興味があることを調べ、魅力をまとめる等の活動を行った。魅力をまとめてからは、「情報を発信したい」と意欲的に活動を行った。

2年時では地域の現状に目を向けることを意識し、1学期には、職場体験を通して地域の仕事や人と直に触れ合い、質問をすること等により地域の課題を探る活動を行った。2学期からは、課題を整理し、自分達には何ができるのかを考え、町に提案できる地域活性化案を練る活動を行っている。

本学年の生徒に、総合的な学習についてのアンケートを行ったところ結果は次のとおりとなった。

(肯定的評価／33人中)

課題 発見力	1	身の回りのものやできごとから自分が調べてみたいことを見付けています。	26
	2	地域の方や問題解決に向けて取り組んでいる人々が困っていること(問題)を知り、それらを解決するための方法を考えています。	22
	3	友達や、地域の人がもっている悩みを解決したり、願いをかなえてあげたりしたいと思います。	30
課題 解決力	4	解決しようとする課題について何をすればよいのか、何が使えそうかを考えることができます。	29
	5	課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。	16
	6	課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。	24
	7	たくさんの資料から、必要な情報を集めることができます。	25
	8	集めた情報から、適切なものを選んで、調べたことをまとめることができます。	26
	9	調べて分かったことを、効果的な方法(図、グラフ、表など)を考えてまとめています。	22
	10	情報を比べたり(比較)、仲間分けしたり(分類)、関係を見付けたり(関係付け)して何が分かるのかを考えています。	28
	11	友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	32
	12	発表する相手を意識して、自分の考えとその理由を明らかにして、分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	27
	13	自分の考えを積極的に伝えています。	24
	14	友達と話し合う時、お互いが納得のいく考えをつくらうとしています。	30
振り 返り力	15	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか。」「学習方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	30
	16	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	27
	17	自分の住んでいる地域のことが好きです。	31
	18	視野を広げ、課題解決に向けて計画を立てています。	28
	19	視野を広げて、納得解を見だし、表現しています。	28
	20	地域における自分の生き方、在り方について考えています。	25

アンケートの結果から、概ね肯定的な評価をする生徒が多かった。しかし、その中でも、いくつかの項目が全体に比べて割合が低い傾向にあった。

課題発見力に関わっては、「2 地域の方や問題解決に向けて取り組んでいる人々が困っていること（問題）を知り、それらを解決するための方法を考えています。」の項目である。2年生1学期までの活動では、自分たちが調べたいと思ったことや、町の魅力について発信するという活動を行っていたため、地域の現状の問題について考える学習が少なかったためと考えられる。そのため、職場体験学習で地域交流を図ることができる機会を通して、地域の方の困り感や、地域の現状を知るために質問をすることで、直に地域の課題に触れ学習を進めていく。

課題解決力に関わっては、「7 調べてわかったことを、わかりやすい方法（図、グラフ、表など）を考えてまとめています。」の項目である。これまでの学習では、情報収集を行い、自分たちが学んだことを発表する機会があったが、写真を用いるなどして可視化することはあっても、図や表などにまとめることはなかったことが原因だと思われる。また、「13 自分の考えを進んで伝えていきます。」の項目においても肯定的な評価が他の項目に比べて少なかった。普段の学級の様子を見ていると、授業中に手を挙げて発表したり、人前で自分の意見を伝えたりすることに苦手意識をもっていることが分かり、それが原因だと考える。「5 課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。」「6 課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。」の項目については、これまでの学習で地域の現状の問題について考える学習が少なかったことや、生徒自身の頭の中で解決できる方法を選択していたことが考えられる。そのため課題の解決に対して、それが最善策であるのか問いかける声かけ等を行っていく。

○単元観

本単元では、自分たちが住む神石高原町の地域活性化のために地域の現状について調べたり、実現可能な方策を考えさせたりすることを通して、「地域における自分たちの在り方」に気付かせるとともに、もっと地域活性化のために考えてみたいという心情を育てていきたい。さらに、12月に行われる町の「次世代議会」で説得力のあるプレゼンテーションを行うため、自己表現力を向上させていくことをねらいとしている。

○指導観

指導に当たっては、課題発見力・課題解決力・振り返り力を付けるために以下の工夫を取り入れる。

課題発見力	地域の方々に質問をしたり、実際に職場体験を経験したりする中で、これまでとは違った視点から物事を認識し、課題を見付けさせる。そして、生徒が個人的またはグループ等で課題解決に向けて取り組んだ内容を共有し、その中で生まれる新たな課題を次時で取り組んでいく。
課題解決力	情報収集の際には、現状を把握し、なぜそのような状態になっているのか原因を追究するために、対話を行ったり思考ツール用いたりすることで、分析していく。多様な他者と協働して解決しようとしたりすることで自分事として捉えさせ、計画、実行、振り返り、再計画というサイクルを繰り返させていく。それを通して、視野を広げ、多面的にアプローチしていくことができる生徒を育成していく。さらに、生徒が自己の在り方生き方を考え主体的に進路を選択していく機会の一つとする。
振り返り力	振り返りの時には「今回できたこと、できなかったこと」「次にやりたいこと、やるべきこと」という視点を与え、今後の学習を見通した振り返りとなるようにさせる。

6 単元の目標

神石高原町の地域活性化のための提案をすることを通して、地理的な事柄が現在の地域の現状に繋がっていることを理解し、実現可能な提案について考えるとともに、他者と連携・協働して課題を発見し、計画的に課題解決する力を身に付ける。

7 本校で育てようとする資質・能力

課題発見力	視野を広げ、課題解決に向けて計画を立てる。
課題解決力	視野を広げて、納得解を見だし、表現することができる。
振り返り力	地域における自分の生き方、在り方について考えることができる。

8 評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		課題発見力・課題解決力	振り返り力
単元の評価規準	<p>①実現可能な提案を行うためには、地域の現状を把握するとともに、解決には人や機関と連携することが必要であると理解している。</p> <p>②地域の現状を把握するための調査や実現可能な提案内容作成について、目的に応じた方法で実施している。</p> <p>③地域活性化と自分たちの関わりについては、地域での自分たちの在り方と結び付いていることに気付いている。</p>	<p>①地域活性化案を作成する活動を通して感じた関心を基に課題をつくり、解決の見通しをもって計画している。</p> <p>②地域の現状を捉えるために必要な情報について、多様な方法の中から効果的な手段を選択している。</p> <p>③自分たちが提案する地域活性化の内容について、つながる情報か考えながら整理している。</p> <p>④実現可能な地域活性化案に向けて、グラフや地図等を効果的に使って表し、「次世代議会で」提案している。</p>	<p>①地域活性化案を作成する取組の振り返りを通して、地域活性を実現する活動を通して感じた関心を基に課題をつくり、解決の見通しをもってしている。</p> <p>②実現可能な地域活性化案を作成するために、自他の考えを生かしながら、協働して取り組もうとしている。</p> <p>③持続可能な町を保っていくために、自分の生活を見直し、地域と協働しながら自分にできることを取り組もうとしている。</p>

9 単元におけるルーブリック（思考力・判断力・表現力等）

	A	B	C
項目	地域活性化案を作成することを通して、実現可能でありそうな活性化の案を具体的な資料等を用いて提案することができている。	地域活性化案を作成することを通して、活性化の案を具体的な資料等を用いて提案することができている。	地域活性化案を作成することを通して、活性化の案を具体的な資料等を用いて提案することができていない。

9 【昨年度9, 10月】

○1学期間の振り返りから活動を行う。

- ・保護者や生徒にアンケートを取り、情報収集を行う。
- ・町の施設にアポイントをとり、見学に行く。

課題：町の魅力を発信する。

○文化祭にて発表を行う準備をする。




- ・これまでの情報を整理する。
- ・発表用資料を作成する。
- ・どのようにしたら聞き手に伝わりやすいか考える。

★魅力を伝えるには聞いてもらう必要があるため、どのようにしたら聞いてもらえるのか考える。

○文化祭にて「神石高原町の魅力・よさ」の題目で発表する。

- ・6つジャンルごとにパワーポイントを用いて発表。

★文化祭では地域の方々しか来られていない。どうやったら魅力を地域外にも発信できるか考える。


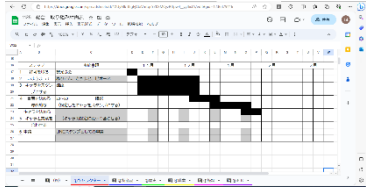





8 【昨年度11, 12月】

○今後の取組について検討する。

- ・Google Jamboard を活用して今後の計画についてチーム内で意見を出し合う。
- ・Google スプレッドシートを活用して今後の細かい計画を練っていく。

★自分達の活動目的は何なのか振り返る。

9 【昨年度1, 2月】

○最終ゴールに向けて取り組みを行う。

- ・キャラクター…LINE スタンプ作成
- ・特産物…動画協力 (PRへ)
- ・歴史…本作り
- ・職業…アンケート結果揭示
- ・施設…パンフレット作成
- ・PR…動画作成





○今年度の振り返りを行い、来年度に向けての課題等を出す。





本橋の目標 (行うこと)	振り返り (①できたこと、できなかったこと ②実施していた数 ③今後どうしていきたいか)	次回の目標、準備物など	本橋の目標 (行うこと)	振り返り (①1年間の活動を通してできたこと、できなかったこと ②1年間活動しての気づき ③次年度の活動でどうしていきたいか)
原稿	原稿を書くことができました。電話して許可をもらう	観光協会に許可をもらう		lineスタンプの作成はできたが、申請をする時、電話をする時間が短縮出来なかった。少々幅が合わないところがあったのでもっと協力すればよかった。
キャラ	キャラクターをつくれた			
genkou	原稿が完成した。	会議開催日までに観光協会に電話する	電話、許可	スタンプがまだ申請途中も少し作業的に、仕事を進めればよかった。が、協力できた。2年生では、計画的に進めたい。
申請文考えたい	1しんかいさんが来られたらちょっと作業が早いこと 3がんばる	きよかをとる	きよかをとる	1スタンプは、作れた申請は、まだ途中なまよって採決されている目録があること 3頑張って作りたい。
申請文を再考える	文を再考えることができました。期に合うかわからないので急ぎたい。スタンプの最終調整をする。	観光協会に許可をもらう	観光協会に許可をとる	lineスタンプを作成することはできたけど、申請が間に合わなかった。みんなが協力しながらできた。府をやるはまた考えではないけど、一生懸命に行ってきたのだから、もっと神石の知名度を上げるために頑張りたい。

3 【4月】

○今年度の学習内容について計画を立てる。

- ・地域交流ができる機会として、職場体験、次世代議会があることを知る。

	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は、魅力を見付けるという方向で活動を行ったため、今年度は地域の現状を把握することを意識する。 ・町主催の次世代議会という地域の行政に関われる機会において、地域活性化の提案をすること目標とし、実地調査や実践することを中心に学習をすることを決める。 <p>年間テーマ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;"> 地域の現状を把握し、次世代議会にて地域活性化の提案をする。 </div>
2	<p>【5月】</p> <p>課題： 地域の現状を把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職場体験へ向けて、地域の職業について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・町の仕事はどんなものがあるのか知る。 ・自分は将来、どんな仕事に就きたいのか考える。 ★自分になりたい職業は町にあるのか、その職に就くにはどんな進路を歩まなければならないのか考える。
7	<p>【6月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町内で体験したい職業を探す。 <ul style="list-style-type: none"> ・これまで先輩が行った職場体験場所を確認する。 ・町の職場を確認し、自分が行きたい理由等をまとめる。
5	<p>【7月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職場体験に向けて、働くということについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・講師を招いて働くことや、働く際のマナーについて学ぶ。 ○職場体験先にアポイントを取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・電話をするために原稿の作成をする。 ・事前の打ち合わせ日等確認をする。 ・事前打ち合わせに行く。 <div data-bbox="1082 1016 1433 1245" style="float: right; text-align: center;">  </div>
2 2	<p>【8月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職場体験学習を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・「町の現状や課題」について情報収集を行う。 ・実際に働いてみて、働き手の困り感ややりがいなどについて理解する。 ・職場体験学習で得た情報を集約し、今後の学習の方向性を話し合う。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="373 1536 671 1733" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="695 1536 994 1733" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1050 1536 1318 1733" style="text-align: center;">  </div> </div>
6	<p>【9月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職場体験について振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・体験して感じたことや、気になったこと等をまとめる。 ★地域の現状から、魅力をアップさせるだけでなく、課題を解決することも必要であることに気付く。

<p>6</p>	<p>【10月】 課題：次世代議会において現実的な地域活性化の提案を行う。 ○職場体験の際に感じたことや、質問したことなどを基に、次世代議会で提案したいと思う内容を決める。 ・地域を活性化するために取り組む必要がある根本を探る。</p>	
<p>5</p>	<p>【11月】 ○次世代議会で提案する内容をクラス内で検討しあい、候補を絞る。 ○次世代議会に向けて提案資料等の準備をする。(本時) ・説得力のある提案にするために、生徒同士や教師に提案を聞いてもらい、改善する。 ○次世代議会でどのような提案の仕方をするか再度考える。 ・次世代議会では、自分たちが考えている地域活性化に向けた提案をするとともに、町が取り組んでいることについて質問をして、情報収集の場とすることを決める。</p>	
<p>1</p>	<p>【今後の予定】 【12月】 ○次世代議会において地域活性化の提案をする。</p>	
<p>4</p>	<p>【1月】 ○次世代議会での答弁を振り返る。 ・議員さんに言われた内容等をクラスで共有する。 ・答弁の内容を分析する。 ★なぜ提案を受け入れてもらうことができなかったのか考察する。 ★町が改善しようとしていたところと同じポイントを提案することができた。 この視点からさらなる活性化の方法について考える。</p>	
<p>5</p>	<p>【2月】 ○来年度の次世代議会において、町に実行してもらえるような提案をするために必要なことを考える。 ・提案の内容や、資料の提示の仕方等を見直し、来年度に向けて計画を立てる。</p>	
<p>4</p>	<p>【3月】 ○他地域との違いを確認できるように町の現状をまとめる。 ・魅力や課題を改めて整理する。 ・他地域と比較することで新たな発見等をする。</p>	

1 1 本時の学習

(1) 本時の目標

提案内容や方法について、検討しあい、改善することができる。

(2) 本時の評価規準

よりよい提案を行うために、情報を整理し考えている。

(思考力、判断力、表現力等③)

(3) 準備物

〔指導者〕 電子黒板 〔生徒〕 総合ファイル、タブレット

(4) 学習の展開 (54 / 70時間)

<p>学習活動 ○指導者 ・予想される児童の発言</p>	<p>・指導上の留意事項 ○評価規準および判断基準 (方法)</p>
<p>1 前時の振り返りを行い、本時の活動を確認する。(3分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>提案内容や方法について、検討しあい、改善することができる。</p> </div> <p>2 グループごとに提案を行う。(25分) ○提案内容について注目するように声かけを行う。 ・今回は、分かりやすいデータが使われているかに注目してみよう。 ・話の流れとしては分かりやすくなっているだろうか。 ・話し方は今回見られないけど、聞き取りやすいように意識しておこう。</p> <p>3 グループで提案内容の改善を行う。(15分) ・評価からたくさんの課題が出てきたから手分けして取り掛かろう。 ・課題の分析がまだあまかったかな。もっと情報がないか調べてみよう。</p> <p>4 本時の振り返りをする。(7分) ○振り返りを書きましょう。 ・発表する際に、自分自身でもよく分かっていないところがあったな。調べておこう。 ・パワーポイントが文字ばかりになっているから、グラフや図などを作成していこう。 ・提案内容に現実味をもたせるために、同じような取組が行われていないか探してみよう。</p>	<p>・プレゼンテーションを行う際に意識することを確認する。</p> <p>・ワークシートに提案についての評価項目を示し、見るべきポイントを明確にする。 ・発表後に数分間、質疑やワークシートへの記入を行うことを確認しておく。発表者についても自己評価をする。</p> <p>・発表終了後に、ワークシートに記入された評価を参考にして、内容を検討させる。 ・気になること等があれば調べられるようタブレットを準備しておく。 ○よりよい提案を行うために、情報を整理し考えることができている。 (ワークシートへの記述・活動の観察)</p> <p>・自己評価と他者評価を比較することで、新たな視点に気付き、考えられるようにする。 ・次回に向けて取り組まなければならないことを、記入させる。</p>

1 2 板書計画

本時の目標

提案内容や方法について、検討しあい、改善することができる。

プレゼンテーションを行う際に意識すること

- ・重要な項目は繰り返して伝える
- ・「間」を意識する
- ・質問を投げかける

提案内容の評価の視点

- ・説得力のあるデータを使えているか
- ・分析を踏まえた提案になっているか
- ・実現可能性が高いものになっているか

本時の活動

- ① 提案内容の発表（25分）
- ② 提案内容の改善（15分）
- ③ 振り返り（7分）